
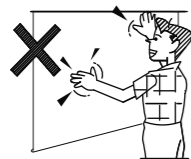



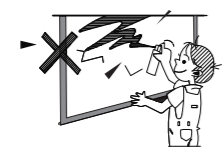

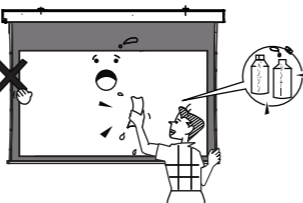

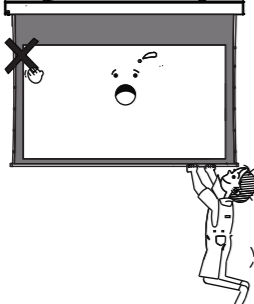




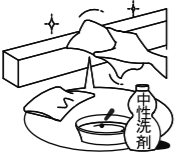

注意

スクリーン面は反射性能を特別に強力にするために、スクリーン表面が特殊な構造となっています。傷や汚れがつくと、映写効果を損なう恐れがありますので、次のことに十分注意をして丁寧にお取り扱いください。

使用上のご注意


- スクリーン面に手をふれないでください。
 - 禁止 
 - 
- ケースは絶対にあけないでください。故障のときはお買い上げの販売店にご相談ください。
 - 分解禁止 
 - 
- スクリーン面に文字などを書かないでください。のは、筆記用具の種類を問わず消すことができません。
 - 禁止 
 - 
- 水を湿らせた布やベンジン、シンナー等でスクリーン面をふかないでください。スクリーンの表面が変質したり塗料がはげたりします。
 - 禁止 
 - 
- ケースやスクリーンにぶら下がったり、掲示物をかけたりしないでください。破損したり、落下してけがの原因となることがあります。
 - 警告 
 - 
- スクリーンを無理に引き出さないでください。本体またはスクリーンが脱落する恐れがあります。
 - 禁止 
 - 

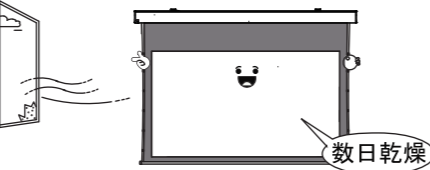
お手入れのしかた

- ケースの汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布を絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
 - 
- スクリーン面のほこりをとるときは、柔らかいブラシで軽く払ってください。
 - 柔らかいブラシ 

置き場所・保管についてのご注意

- 直射日光の当たる場所、ホコリや湿気が多い場所や熱器具のそばなど、直接熱が当たる場所は変形・故障や事故の原因となります。又、高温の車中への放置もさけてください。

 **ひとロメモ** スクリーン表面は出荷前に充分乾燥させていますが、万一ニオイが強い場合は、窓を開け風通しを良くし、数日乾燥させてください。

 数日乾燥

Grandview

PROJECTION SCREEN

電動巻き上げ型スクリーン 取り扱い設置説明書



(GVT-100HDW-K/120HDW-K) ケースカラー黒
 (GVT-100HDB7-W/120HDB7-W) ケースカラー白




このたびはグランビュープロジェクションスクリーンをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。お求めのスクリーンを正しく使っていただくため、お使いになる前に必ずこの「取り扱いおよび設置説明書」をよくお読みください。お読みになったあとは大切に保管し、わからないことがおきたときに読みなおしてください。

安全上のご注意

スクリーンを正しく利用し、人や財産への損害を未然に防止するため、使い方や設置方法を誤ったときに生じる、危害や損害の程度により次の絵表示で区分し、説明しています。

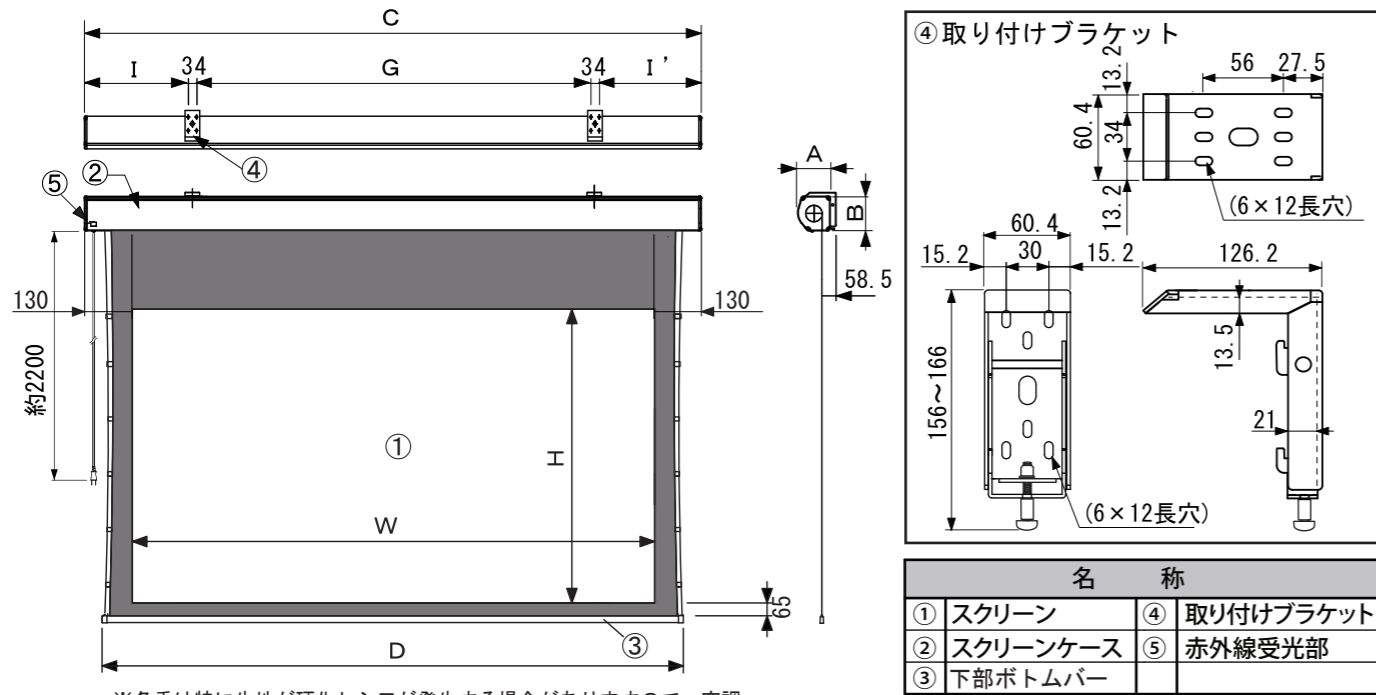
◆下記のマークのある注意事項および、指示内容を、必ずお守りください。

 警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただきたい「厳守」内容です。

取り扱い上の不備又は天災などによって発生する事故・損傷については、当社は一切責任を負いかねます。

各部の名称・仕様および寸法



※冬季は特に生地が硬化しシワが発生する場合がありますので、空調で室温をおおむね24程度にあたためて頂きスクリーンをおろした状態でしばらく放置することでシワは解消していきます。

名 称	
①	スクリーン
②	スクリーンケース
③	下部ボトムバー
④	取り付けブラケット
⑤	赤外線受光部

スクリーン規格一覧

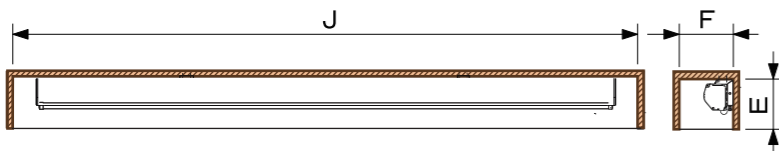
■HDサイズ(16:9)

型番	スクリーンサイズ		外形寸法				取付穴芯			重量 (Kg)	消費電力 (W)
	W (mm)	H (mm)	A (mm)	B (mm)	C (mm)	D (mm)	I (mm)	G (mm)	I' (mm)		
GVT-100HDW-K/B7-W	2214	1245	135	143	2672	2468	400	1804	400	21.5/21.0	100
GVT-120HDW-K/B7-W	2656	1494	135	143	3114	2910	400	2246	400	24.5/23.2	100

※ 取付穴芯は推奨の位置です。任意で移動することができます。
※ 輸入商品の為、予告なしに仕様変更する事があります。

天井埋め込みBOX参考寸法(内寸法)

※天井埋め込みBOXはお客様側でご用意ください。



天井埋め込みBOX内寸		
ハイビジョンタイプ		
J	E	F
100HD	3000	200
120HD	3400	200

付属品

取り付けの前に、下記の付属品が入っているかを確認してください。

警告 下記設置部品以外での取り付けはおやめください。取り付け時の不備による脱落の恐れがあります。

付属品			
	赤外線リモコン・・・1個 リチウム式コイン型電池 (CR2032)・・・2個内蔵		外付赤外線受光器・・・1個 (400mm)
共通部品			
	取り付けブラケット・・・2個		トラスタッピングネジ (M5×50mm)・・・8本
	六角レンチ・・・1本		取り扱い及び設置説明書・・・1冊

スクリーン位置を下げたい場合

1. スイッチをDOWNに入れ、スクリーンが止まるまで待ちます。
2. スイッチはDOWNに入れたままにします。
3. 調整用ボリューム黄色を反時計廻り(+表示)へ付属の六角レンチ又は、小さいドライバー等で回します。(ボリュームを1回転するとスクリーンは約20~30mmピッチで下がります。)
4. ご希望の位置になるまで続けてください。

4回(往復)以上連続操作すると、モーター内部のサーマルスイッチが働きモーターは停止します。しばらく放置すると(30分程度)、サーマルスイッチが解除になり操作可能になります。(故障ではありません。)

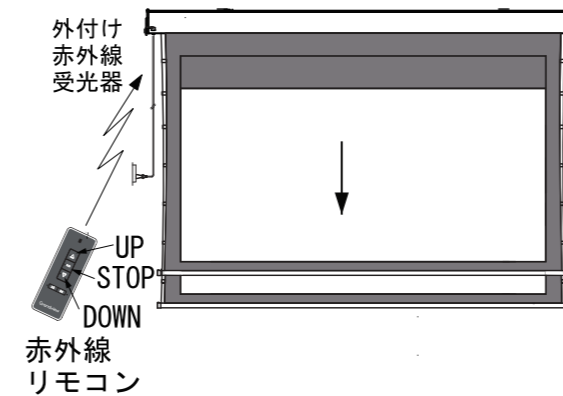
スクリーン位置を上げたい場合

1. 調整用ボリューム黄色を時計廻り(-表示に2~3回、回します。(1回転で約20~30mm上がります。))
2. スイッチをUPにし、スクリーンを30~40cm上げます。
3. スイッチをDOWNにし、スクリーンを下げ停止するまで待ちます。
4. ご希望の位置になるまで続けてください。

スクリーン位置が下がり過ぎた場合

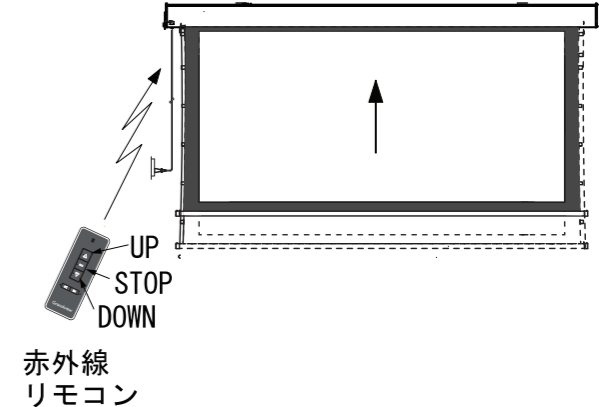
◆GVT用

スクリーン位置を上げたい場合を参照ください。



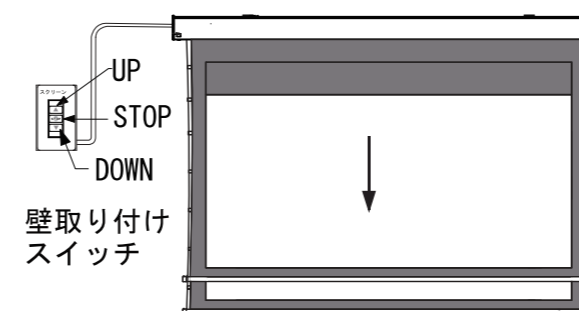
スクリーン位置が上がり過ぎた場合

スクリーン位置を下げたい場合を参照ください。

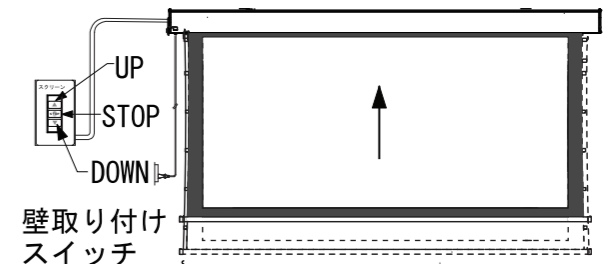


◆(オプション 外付制御スイッチ用)

スクリーン位置を上げたい場合を参照ください。



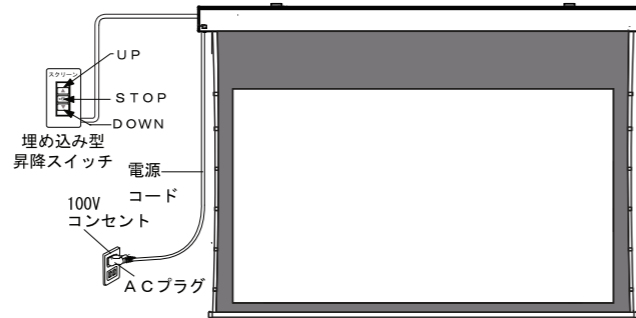
スクリーン位置を下げたい場合を参照ください。



スクリーン使い方 (オプション 外付制御スイッチ)

スクリーンを使うとき

- ・DOWN (下降) 側へ、ボタンを押してください。設定された位置まで自動的に下がり停止します。
- ・スクリーンを任意の位置で停止させる時、もしくは緊急に止めたいときは、STOPボタンを押してください。
- ・使い終わりましたら、UP (上昇) ボタンを押してください。スクリーンがケース内に収納され、自動的に停止します。



動作中に、異常な音や臭いがする場合は、結露など不測の要因で本体に水が入った場合はすぐに使用を中止し、電源コードのACプラグを抜いてください。中止後はただちに取り扱い店にご相談ください。そのまま使用すると火災や故障の原因となります。



注意

- ・スクリーンが下降中、または上昇中にいきなり上昇スイッチ、または下降スイッチ押さないでください。必ず停止スイッチを押してから、上昇スイッチ、下降スイッチを押してください。
- ・スクリーン表面保護のため、ご使用後は必ずスクリーンを巻き戻すようにしてください。その際に虫等が付着していない事を必ず確認してください。
- ・スクリーンの停止位置を変える場合(9~10ページ)は、代理店、又は施工業者にご相談ください。
- ・長時間スクリーンを使用しない場合は、電源コードのACプラグをコンセントから抜いておいてください。

スクリーン停止位置の変更(リミッター調整)

スクリーンの上部マスク巾(有効画面上部よりケース下面間)は工場出荷時約400mmに設定されています。スクリーンケースに内蔵されているリミッター調整用ボリューム(下図参照)によりご希望の位置に変更する事ができます。(上昇方向のみ)

左底面部(下から見た図)

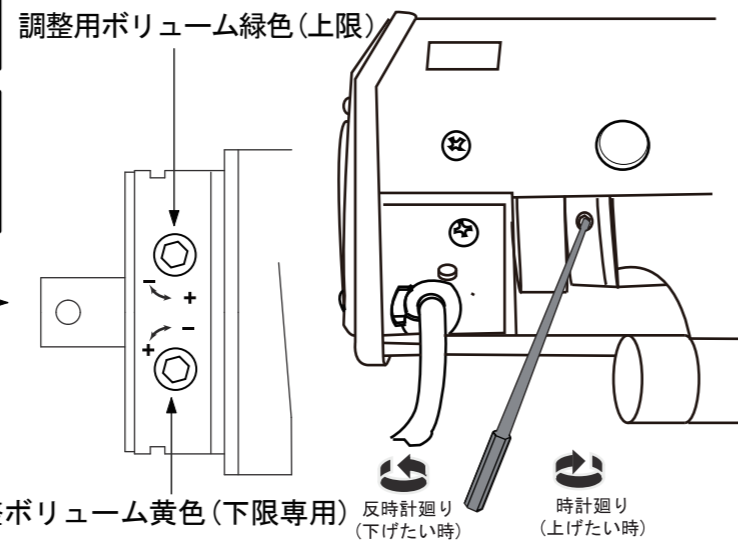
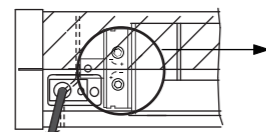


調整用ボリューム緑色は、通常の設置時には調整しないでください。下部パイプがケースに食い込んでしまいます。



調整用ボリューム緑色は、工場出荷時に調整済みですので、このボリュームには触らないでください。

調整用ボリューム表示	
反時計廻り	+表示側
時計廻り	-表示側



禁止

スクリーンの上部マスク巾(有効画面上部よりケース下面間)は、工場出荷時に約400mm(最大値)に設定されています。既に最大値で設定し出荷しておりますので、設定済の位置よりマスク巾を下げてのご使用はおやめください。万が一、設定済の位置より下げたままご使用された場合、幕面の平面性に影響が出たり、生地がシャフトから脱落してしまう恐れがございます。

スクリーン取り付け方法



警告

- ◆スクリーンを設置する壁や天井は、100kg以上支えられる強度が必要です。また石こうボードやパーティクルボードなどの場合は、下地の補強が必要です。強度が心配な場合は、必要に応じて補強してください。
- ◆補強が不足している面に取り付けると脱落する恐れがあります。



注意

- ◆天井取付に際し、下記の方法は絶対にしないでください。
- ◆壁取付に際し、下記の方法は絶対にしないでください。



禁止

- ・ボードアンカーのみによる施工
- ・ALCアンカーによる吊り下げ
- ・天井裏Mバーへ直接重荷をかける施工



禁止

- ・ボードアンカーのみによる施工
- ・補強下地無しの施工

合板の天井または壁に設置する場合



注意

合板は、少なくとも20mm以上の厚さが必要となります。

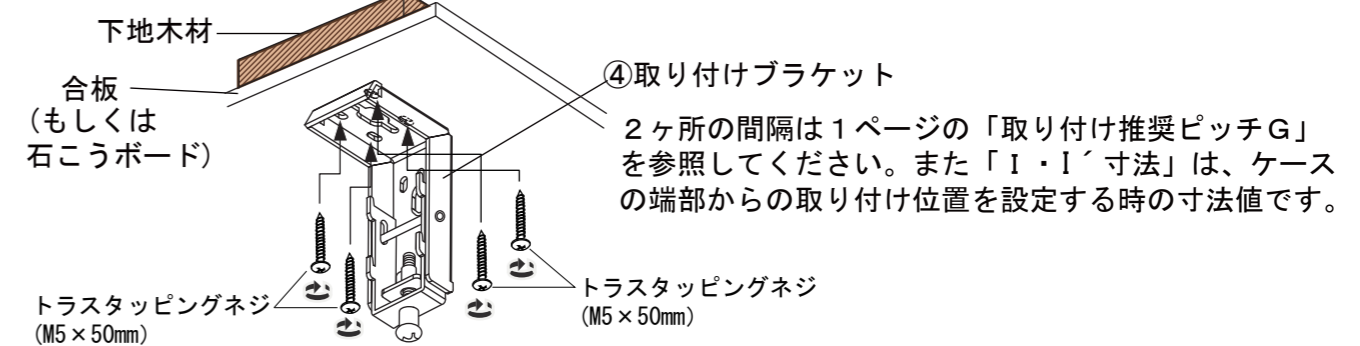
■取り付け場所の確認

本機は天井または壁に取り付けすることが可能ですが、あらかじめ取り付けをする場所に下地の木材が通っているか機器^(※)などで確認してください。

(※)推奨機器：パナソニック電工(株)「壁うらセンサー」等

1. 取り付けブラケットを天井に取り付けする場合

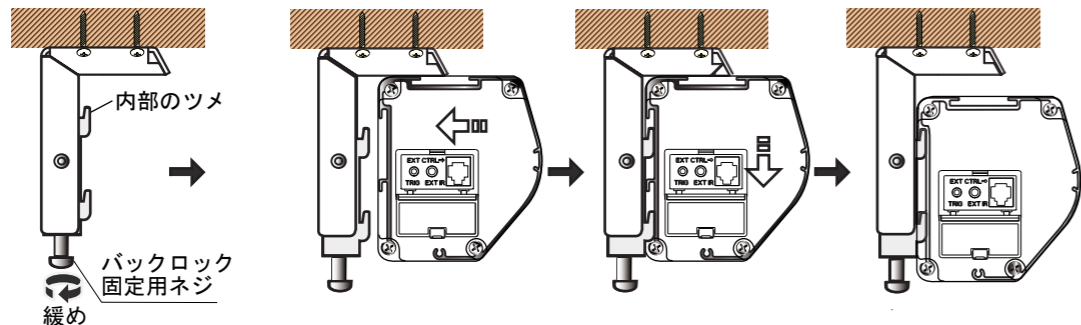
- 1-1 取り付けブラケット④を付属のトラスタッピングネジ(M5×50mm)で天井に⊕ドライバーで取り付けしてください。



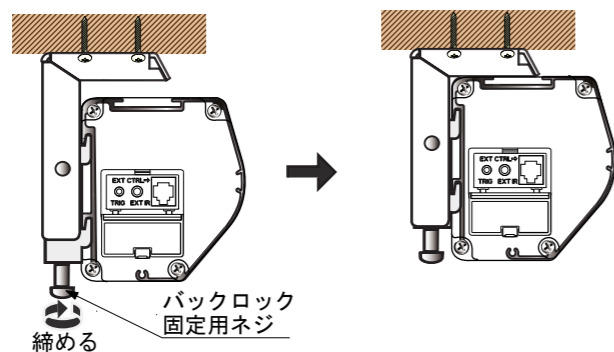
注意

取り付けブラケットは、スケールやレーザーポインター等の道具で位置を決定し、必ずそれぞれが平行になるように取り付けしてください。取り付けブラケットの平行が取れていないとスクリーンを取り付けできない場合があります。

- 1-2 バックロック固定用ネジを⊕ドライバーでいっぱいまでゆるめてください。スクリーンケース天面をブラケットの下面に押し上げた状態で後ろへ押し付けながら、スクリーンケース後面のスリットにブラケット内部のツメが入る様にスクリーンを下げてください。



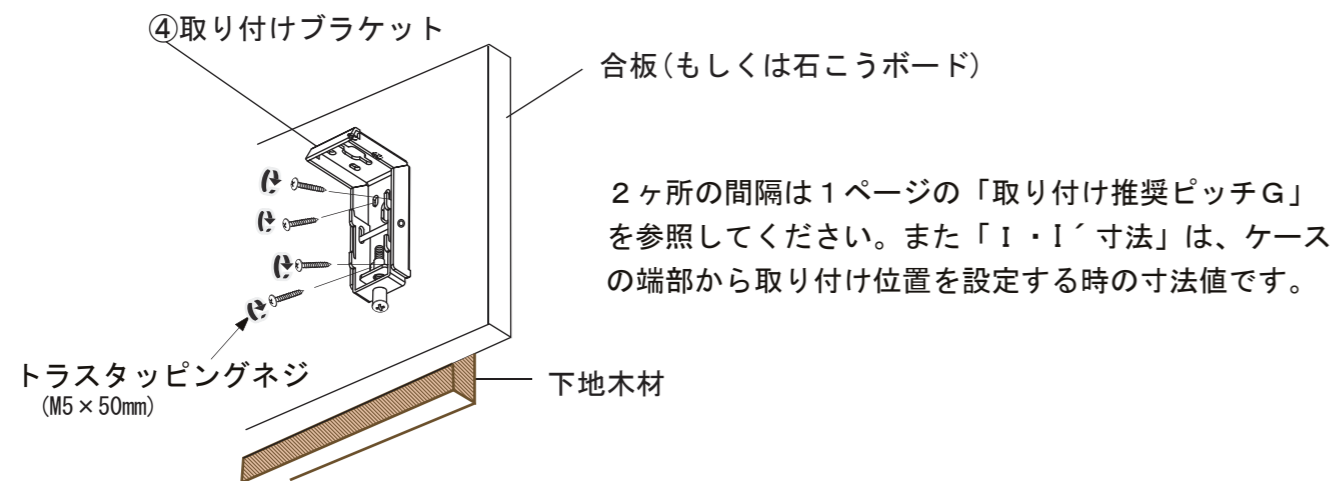
- * いっぱいまでとは、ネジをゆるめていってそれ以上ネジが回転しなくなる状態をいいます。
1-3 ブラケット内部のツメがスクリーンケース後面のスリットにしっかりと入ったかどうかを確認して、ブラケット下部のバックロック固定用ネジを⊕ドライバーでしっかりと締めてください。



注意	<ul style="list-style-type: none"> 取り付けブラケットにスクリーン本体を取り付けする時には、必ず2名で行ってください。1人で作業を行うとスクリーン本体の落下、作業者の転倒や転落などの恐れがあります。 スクリーンケース後面のスリットへの差し込みや固定用ネジの締め付けは確実に行ってください。不十分な状態で取り付けが完了した場合は、後日スクリーン本体の落下によって人的障害の発生の恐れがあります。
-----------	---

2. 取り付けブラケットを壁に取り付けする場合

- 2-1 取り付けブラケット④を付属のトラスタッピングネジ(5×50mm)を使って壁に⊕ドライバーで取り付けしてください。



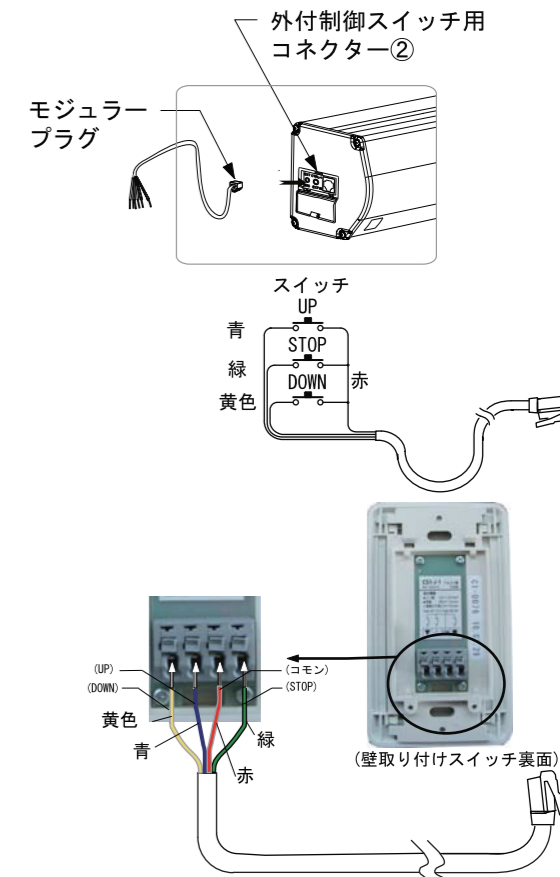
- 2-2 取り付けブラケット内部のツメが、3ページの1-2の手順でスクリーンケース後面のスリットに入る様にしてください。
2-3 取り付けブラケット下部のバックロック固定用ネジを3ページの1-3の手順でしっかりと締め付けしてください。

外付制御スイッチを接続する方法(オプション)

接続をする前に：

- ・スクリーン本体コントロール部の電源を必ず切った状態で接続してください。
- ・プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は誤動作の原因となります。抜く時は、必ずプラグを持って抜いてください。

- ① モジュラープラグ付きケーブル(付属品)を接続する。左側面にある外付制御スイッチ用コネクター(4ページ、②)にモジュラープラグ付きケーブルのモジュラープラグを差し込み接続します。
- ② モジュラープラグ付きケーブルと壁取り付けスイッチを接続する。



- ②-1 接続線脱着ボタンを細いマイナスドライバーなどの先で下へ押しつけます。

- ②-2 押しつけた下側の線差し込み口へ結線図で指定された線を差し込みボタンからマイナスドライバーをはなします。軽く線をつまんで引っ張り線が抜けない事を確認します。抜ける場合は、ボタンの押し方や、線の差し込み方が不足しているのもう一度、同じ動作を繰り返します。

- ②-3 残りの3つの線も同時に行い接続します。

	<ul style="list-style-type: none"> ・接続線脱着ボタンは下へ確実に押ししてください。押し方が不十分ですと、下の差し込み口に線が入らず正しく接続できません。 ・差し込み口へは、線を実際にさしこんでください。 ・確実にさしこまれていないと正しく動作しない恐れがあります。 ・モジュラープラグ付きケーブルは必ず付属品をご使用してください。
--	---

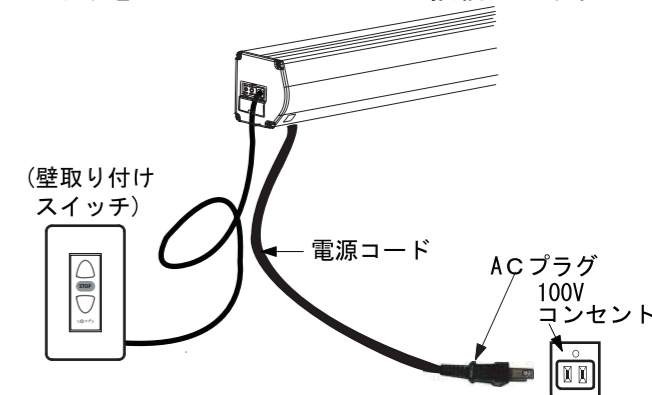
* 中間ケーブル(推奨: VCTF 0.75 4芯)は、別途ご用意ください。

	線色を合わせて、確実に絶縁圧着端子等で結線してください。
--	------------------------------

	圧着が不十分ですと、動作しない事がありますのでご注意ください。
--	---------------------------------

- ③ 電源コードを接続する。
スクリーンケース左下面にある電源コード(AC100V用)をコンセントに差し込み接続します。

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ・モジュラープラグの差し込みは必ず電源コードをコンセントに差し込む前に実施してください。電源ONの状態では抜き差しすると誤動作する恐れがあります。 ・電源コードに物を強くぶついたり火気類を近づけないでください。コードの破損によって火災や感電などの恐れがあります。
--------	--



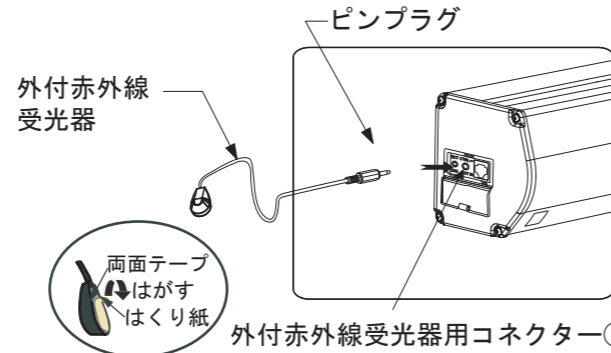
外付赤外線受光器等を接続する方法 (GVT)

接続をする前に：

- ・スクリーンケース本体を天井面や壁面に直接取り付けられた場合、付属の外付赤外線受光器は接続不要です。
- ・スクリーンケース本体を天井埋め込みボックスなどに取り付けた場合、ケース前面にある受光部が反応しにくくなります。その場合は付属の外付赤外線受光器を接続し、送信機が反応できる位置に設置してください。

① 外付赤外線受光器を接続する。

左側面にある外付赤外線受光器用コネクタ（4ページ①）へ外付赤外線受光器のピンプラグを差し込み接続します。



② 受光器を貼り付けする。

受光器の裏面には貼り付け用の両面テープを取り付けてありますので、はくり紙をはがして、ご希望の位置(プラグコードの範囲で)へ強めに押し付けて貼り付けてください。

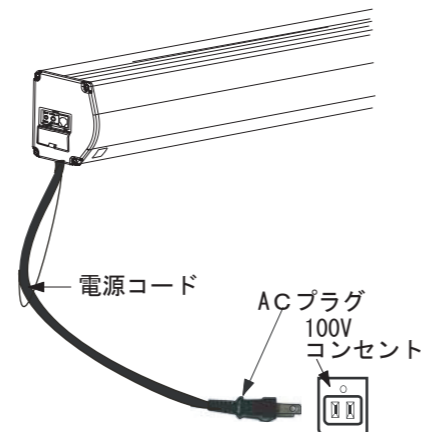


注意

- ・あらかじめ貼り付けする場所の汚れ・水分・油分などをしっかり拭き取ってください。
- ・受信感度の低下や誤動作の恐れがありますので、直射日光の当たらない場所を選んで貼り付けてください。
- ・場所によっては(表面に大きな凸凹などがある場合)貼り付け出来ない場合があります。
- ・プラグコードの長さは400mmとなっていますので無理に引っ張って貼り付けしないでください。

③ 電源コードを接続する。

スクリーンケース左下面にある電源コード(AC100V用)をコンセントに差し込み接続します。



禁止

- ・ピンプラグの差し込みは、電源コードをコンセントに差し込む前に行ってください。電源がONの状態では抜き差しすると誤動作する恐れがあります。
- ・電源コードに物を強くぶついたり火気類を近づけないでください。コードの破損によって火災や感電などの恐れがあります。



警告

1. 長期間ご使用にならないとき(外出や旅行など)は、安全のために電源プラグをコンセントから抜いてください。



2. 電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

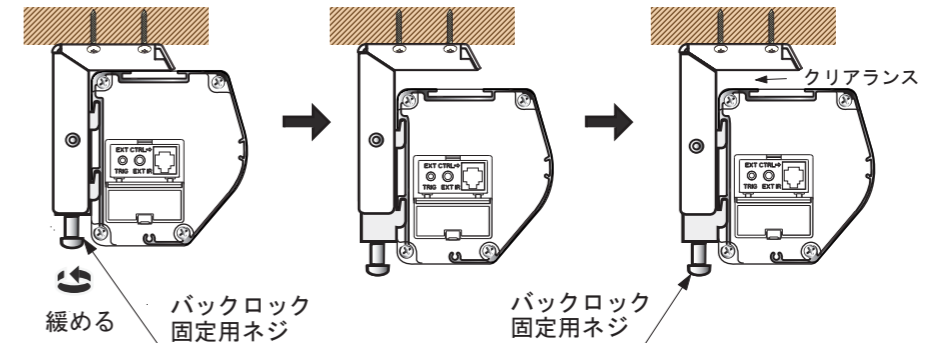


3. 電源プラグにほこりがたまるように、定期的に掃除をしてください。電源プラグとコンセントとの間にほこりがたまると火災の原因となります。

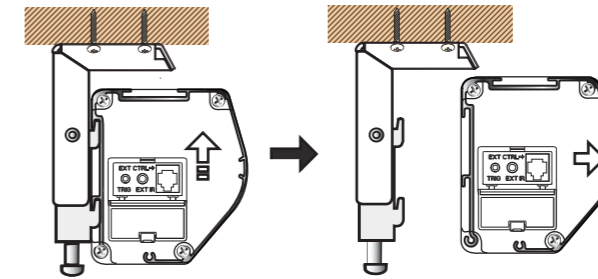


スクリーン本体をとりはずす方法

- 1-1 ブラケット下面のバックロック固定用ネジを⊕ドライバーでいっぱいまでゆるめて、スクリーンケースを下に下げてください。
(注)スクリーンケースを取り外しの為のクリアランスを確保する為に、必ずいっぱいまでゆるめてください。



- 1-2 スクリーンケースを上を持ち上げて手前に引き出します。

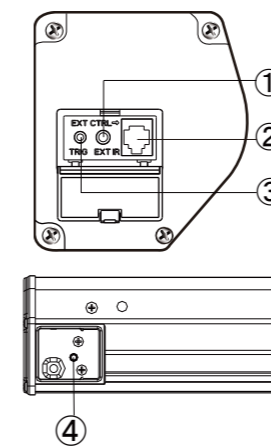


注意

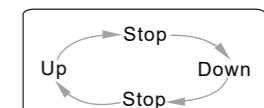
- ・ブラケットからスクリーン本体を取りはずす時には、必ず2名で行ってください。1人で作業を行うとスクリーン本体の落下、作業者の転倒や転落などの恐れがあります。
- ・内部ブラケットのツメからスクリーンを外した時に、スクリーン本体から手をはなさないでください。スクリーン本体の落下によって人的障害の発生の恐れがあります。

各部の名称と働き

1. スクリーン本体コントロール部



- ① 外付赤外線受光器用コネクタ (GVT用) 本体コントロール部と外付赤外線受光器を、ピンプラグで接続する時に使います。
- ② 外付制御スイッチ用コネクタ (オプションで使用) 壁取り付けスイッチを接続する時に使います。
- ③ トリガーコネクタ (オプションで使用) 別売りのケーブルでプロジェクターと接続し、プロジェクターの電源ON/OFFと同時にスクリーンを昇降させることができます。
- ④ マニュアルスイッチ リモコンが使えない場合(紛失または電池切れ等)に使用するに使用するスイッチです。下記の様な順で動作します。

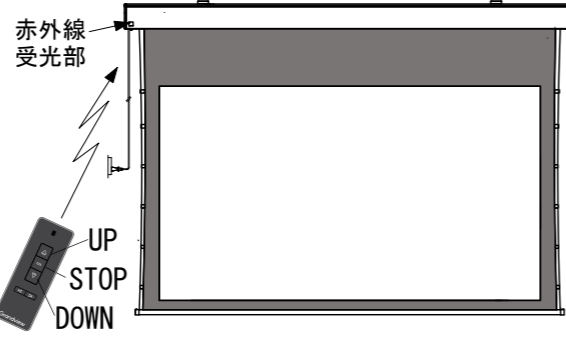


スクリーンの使い方 (GVT)

付属の赤外線リモコンを使って操作します。

お使いになる前に

- ・スクリーンケース本体を天井面や壁面に直接取り付け付けた場合、付属の外付赤外線受光器は接続不要です。
- ・スクリーンケース本体を天井埋め込みボックスなどに取り付けた場合、ケース前面にある受光付部が反応しにくくなります。その場合は付属の外付赤外線受光器を接続し、送信機が反応できる位置に設置してください。(接続方法はP8を参照してください。)
- ・赤外線リモコンにリチウム式コイン型電池 ((CR2032) × 2個) が入っているか確認してください。

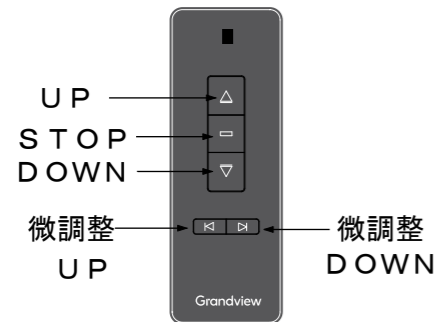


注意 スクリーンを設置もしくは動作させる前にボトムバーを固定しているネジを必ず取り外してください。またナットも取り除いてください。

1. 赤外線リモコンを受光部に向けて操作します。

- 1-1 スクリーンを使うとき
赤外線リモコンの「DOWN」ボタンを押してください。スクリーンが設定された位置まで自動的に下り停止します。
- 1-2 スクリーンを使い終わったら
赤外線リモコンの「UP」ボタンを押してください。スクリーンが収納され自動的に停止します。
- 1-3 スクリーンを停止させるとき
スクリーンを任意の位置で止める時や緊急に止めたいときは「STOP」ボタンを押してください。ボタンを押した位置で停止します。

◆微調整モードの使い方



微調整UP/DOWNを1回押すと、約0.5秒～1秒上下します。(初期設定の範囲内で微調整可能) 画面が有効面を外れた時にご利用ください。

- ・微調整スイッチはUP/DOWN共にワンショットスイッチです。長押しはしないでください。

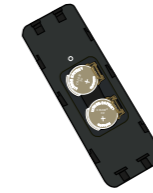
注意 動作中に、異常な音や臭いがする場合や、結露など不測の要因で本体に水が入った場合はすぐに使用を中止し、電源コードのACプラグを抜いてください。中止後はただちに取り扱い店にご相談ください。そのまま使用しますと火災や故障の原因となります。

注意

- ・スクリーンが下降中、または上昇中にいきなり上昇スイッチ、または下降スイッチを押さないでください。必ず停止スイッチを押してから、上昇スイッチ、下降スイッチを押してください。
- ・スクリーン表面保護のため、ご使用後は必ずスクリーンを巻き戻すようにしてください。その際に虫等が付着していない事を必ず確認してください。
- ・スクリーンの停止位置を変える場合(9～10ページ)は、代理店、又は施工業者にご相談ください。
- ・長時間スクリーンを使用しない場合は、電源コードのACプラグをコンセントから抜いておいてください。

◆電池の入れ方

1. 裏ぶたを押して矢印の方向にスライドさせて開けます。
2. 電池を両方とも⊕が見えるように入れます。
3. 裏ぶたを矢印の方向に“カチッ”と音がするまでスライドさせて閉めます。



リチウム式
コイン型電池
×2個内蔵
(CR2032)



電池は誤った使いかたをすると液もれや破裂をすることがあります。次の点にご注意ください。

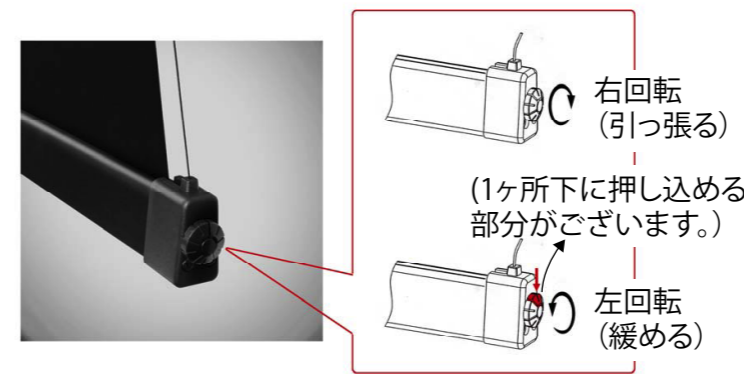
注意

- ・使用期限内(電池に記載)の電池を使用してください。
- ・⊕ ⊖の向きを表示どおり入れてください。
- ・電池を入れたまま長時間放置しないでください。
- ・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- ・使用後、可燃ゴミに混ぜたり、燃やしたりしないでください。
- ・種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- ・電池は充電しないでください。
- ・ショートさせたり分解しないでください。

スクリーンのテンションを調整する方法

スクリーン下面は、工場での出荷検査の時に平面調整を完了しておりますが、お使いになっているうちにシワが発生した場合は以下の手順で調整してください。

1. ボトムバーサイドのテンション調整ダイヤルにて、サイドワイヤーのテンションを調整いたします。タブテンション機構により、スクリーンの平面性を保ちます。



禁止 調整ダイヤルを回転させる時は必ず左右同じ回数で行ってください。片側だけ回転させますと、かえってシワを発生させてしまい、外観を損ねたりする恐れがあります。

禁止 調整ダイヤルの最大回転数は、左右共に4～5回転が目安となっております。

2. テンションをかけすぎた場合、スクリーン下面の端にR状のシワが発生する場合があります。この場合は、左回転させてR状のシワの状態を見ながらテンションを緩めてください。

注意

- ・テンションを掛けすぎた時は、調整ダイヤルを左回転させて一旦テンションを緩め2～3日放置してください。再度スクリーンの状態を見ながらテンションの調整をしてください。
- ・シワの性質によっては、完全に切り切れない場合もありますのでご了承ください。